

島根県海士町における 社会福祉法人合併に関する事例研究

参加費
6,000円

WMO会員は
無料



講師

社会福祉法人 海士町社会福祉協議会
事務局長

片桐 一彦 様



平成9年島根県の離島「海士町」に移住。海士町社会福祉協議会のケースワーカーとして相談業務を行いながら、NPO法人海士人を立上げ、若者支援とIターン施策など町づくりに関わる。平成18年当法人の事務局長に就任。人口減少や財政難、福祉人材の不足など日本が直面する課題の最先端を進む海士町で地域と福祉を残すために社会福祉法人の合併を行う。

<第一部>

島根県海士町における 社会福祉法人合併に関する事例研究

講師 片桐 一彦 様

少子高齢化や人口減少の加速により、地域に根ざした福祉サービスの持続可能性が問われる昨今、社会福祉法人の経営体制にも変革が求められています。こうした中、島根県海士町における3つの社会福祉法人の合併は、地域課題に真摯に向き合い、より強固で柔軟な福祉体制を構築するための先進的な取り組みとして重要なモデルケースとなります。本セミナーでは、その合併に至るまでの経緯や克服された課題、そして合併後の成果と展望について、実務の最前線に立つ片桐様よりお話を伺います。今後の地域福祉のあり方を考える上で、貴重な学びの機会となれば幸いです。

- ✓ 海士町における社会福祉法人合併の背景と意義
- ✓ 地域福祉への貢献と今後の展望

- ✓ 合併交渉から実行までの具体的な道のり

<第二部>

質疑応答 (申込時にいただいた質問事項を Q&A形式で行います)

回答者 片桐 一彦 様

聞き手 辻・本郷 税理士法人 小野 浩司 様

理事長様・業務執行理事様・事務局長様、必聴のセミナーですので、ぜひご参加ください

視聴可能期間

2025年 9月16日(火) 13:00～ 9月19日(金) 16:00

講演時間は約100分となります

お申し込みはこちら

<https://wm-research.jp/seminar/5270/>

詳細は「福祉経営研究機構のWebサイト>セミナー情報」からご確認ください

お申し込み期限：2025年9月9日(火) 13時00分

